

淀協・東日本地震対策本部ニュース

No.2 2011.3.15 淀協東日本地震対策本部

第二次支援隊が出発！

松本直子看護師、武田部長、坂本書記長が第二次支援隊として3/14(月)15:30、現地の坂総合病院（宮城県）に向かって出発しました。

第一次支援隊からは、現地は、まだまだ冷え込みが厳しく、支援者の防寒や食料は自ら確保すること、医薬品は底をつきかけており、カップめん、水、携帯コンロが必要と連絡が入り、第二次で積み込みました。



全職員で取り組む3つの活動にご協力を！

淀協対策本部では、12日(土)午前には本部を設置して以降、小刻みに会議を開催し対応してきました。昨日(14日)は、緊急職場代表者会議を開催し、全職員で取り組む内容を提起して、みんなの支援の気持ちを届けようと、次の3点を確認しましたので当面の活動としてご協力をお願いします。

①更なる支援隊を送ろう！！

長期的な支援になります。今後の支援について職場で検討いただき、1週間を目途に支援に出せる方の届け出をお願いします。医師・看護師・事務(技術系含)の分野で集約します。

②全職員が「給与1日分以上を目安に義援金」に取り組もう！！

現地は、想像を絶する被害となっています。全職員の方には別に用意した「義援金封筒」を活用してご協力をお願いします。各職場長にお渡しください。

③全職員が「タオル1枚運動」にご協力を！！

職員の中から「ここにいても何か出来ることは？」と言う声も寄せられています。対策本部で検討し、みんなの気持ちを載せて現地に届けられ、役立つものとして、全職員が「タオルか、バスタオル1枚を寄付」する運動を展開することにしました。西淀病院管理室まで届けてください。



これが緊急車両の証明書です。日頃の医療活動が生かされ、西淀川警察も好意的に対応指定していただきました。

病院の義援金箱(受付、3~6階分)の3/14第一次集約は19,577円でした。どうも、ありがとうございました。

